

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 道路河川課						
	作成責任者	荒木 正人						
	事業名	交通安全対策整備事業						
	会計情報	款 土木費	項 道路橋りょう費	目 道路新設改良費	会計 一般会計	事業コード 120208	決算付属資料 190	頁
	施策体系	施策コード 010401	施策名 ユニバーサルデザインを普及させる					
	開始年度	昭和63年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等	福知山市交通安全プログラム						
	根拠法令等	-						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市道の道路管理者として、本事業において適切な交通安全対策を実施することで、交通安全対策を回り、市民の安全性の向上を図ることができる。通学路についても、対策を実施していくことで通学中の児童・生徒などの安全性を高めるとともに、保護者や地域住民の不安を軽減することができる。平成26年度以降における取組みとして、通学路の安全確保に向けて、関係機関が連携対策を構築するため、「通学路安全推進会議」を設置し、合同会議を持続していく必要がある。					
	対象者	市民、通学中の児童・生徒、市道全域、市道上交通安全施設	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.2	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	土木工事施工業者等					
	事業概要	市道の管理者として、交通安全対策(道路反射鏡・防護柵・区画線・交差点改良など)を行なうことで、予測できる危険の軽減をはかり、通行する人や車両の安全を確保する。また、通学路における危険箇所についても交通安全対策を実施していく。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費	
		交通安全施設設置工事	道路反射鏡や防護柵を設置し、交通の安全を確保する			6,538	
通学路安全対策工事		特に通学路における危険箇所について、交通安全対策を実施する			2,996		
	バリアフリー化工事	歩道の段差等を解消する			1,460		
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
配当予算	①当初	16,692	15,600	14,600	24,600	14,800				
	②補正予算			0						
	③流充用額	△ 2,099	0	0						
	④繰越額計	2,978	0	0	0	0				
	前年度繰越		0	0	0					
	次年度繰越		0	0						
予算と執行の状況	一般財源	17,571	15,600	13,300	23,000	13,000				
	国支出金	0	0	0		0				
	府支出金	0	0	0		0				
	地方債	0	0	1,300	1,600	1,800				
	その他特財	0	0	0		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域活性化債		種類	地方債	実績金額	1,300	決算付属資料	48	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
従事職員数 (正職/嘱託)	0.58/0	0.58 / 0	0.38 / 0	0.38 / 0						
⑤概算人件費	4,640	4,640	3,040	3,040						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	22,211	20,240	17,640	27,640						
⑦執行額	17,571	15,295	10,994							
執行率 (⑦/(①+②+③+④) × 100)	100.0%	98.0%	75.3%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		改良箇所数	箇所	42/42	28/28	52/52	/	40	40
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	工事件数	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		工事	工事	5/5	4/4	10/10	/	6	6
		単位あたりコスト		3,514.2	3,823.8	1,099.4			
				/	/	/	/		
		単位あたりコスト							

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市道管理者として、危険箇所等の交通安全対策を実施し、事故防止、交通の円滑化を図る。通学路についても通学中の児童・生徒等の安全性を高める必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・地元、学校、PTAなどから交通安全対策に関する要望が数多くあるなかで、緊急度、優先度を見極めながら通学路対策を含めた交通安全対策を適切に実施している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・適切に交通環境の改善を行なうことで、交通事故防止、交通の円滑化が図れる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>・めまぐるしく変化する道路交通状況のなか、交通安全対策に対するニーズに応えることにより、予測できる危険の軽減を図り、通行する人や車両の安全を確保する。とくに通学路については福知山市通学路安全推進会議で策定された福知山市交通安全プログラムに基づき、道路管理者として市道における通学路の危険箇所の安全対策を進めている。</p>		
今後の課題及び方向性	<p>・道路管理者として、通学路を含めた交通安全対策を進めていくが、地元、学校、PTAなどからの交通安全対策に関する要望に応える必要がある。通学路についても、福知山市交通安全プログラムに基づき、実施可能分について実施していく必要がある。</p> <p>・数多くある要望のなかから緊急度、優先度などを見極めながら検討していくが、本事業の交通安全対策にかかる分については交通安全対策交付金見合いで実施しているため、事業費確保に影響がある。</p>			

	所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>○優先順位の取り決めルールの明確化については検討を図りたい。詳細な箇所の決定は、各自治会等の要望は非常に重要なものであり、優先順位を決定するひとつの項目となる。そのため、詳細な箇所を市が一時的に決定することはないと考えている。</p> <p>○長期計画については、関係部署と連携を図りながら、今後検討したい。</p> <p>○継続して適正に実施します。</p>
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充